



4月のひととき



誕生日おめでとう(^ - ^) - ☆

太細 キヨ子様

4月17日生

85 歳

誕生日パーティー

『入社』

令和4年度がスタートして一月が経ちました。おかげさまで、4月より新たに数名の職員が入社され、すでに日々の生活の支援にあたっているところですが、

私がこの業界（特別養護老人ホーム）で初めて仕事に就いたのは、昭和63年7月でした。忘れもしません、いきなり見習い夜勤からでした。幸いにも、先輩職員のご配慮で少し寝かせていただけましたが、仕事は、先輩職員に金魚の糞のようにくっ付いてまわり、正直何が何だかわからないままに朝を迎え、勤務終了となりました。ただ、なにか清々しい達成感を抱いて、テンション上げ上げで家に帰ったことを覚えております。

綾小路きみまろではありませんが、あれから34年！今年は還暦を迎える年になりました。新人だったあの頃を思い出し、今年入社された新人さんの気持ちを勝手に思い巡らせて、彼らが未長くアウルで仕事をし続けられるように心の中で祈っております。

どうか、決して焦らず、気負わず、急がずに、皆さんのお力になっていただけるいいなと願っております。

そして、これからも、日々笑いの耐えない、ユーモア溢れる、心豊かなアウルであり続けられるように支援して参ります。

感謝

有限会社 グッドライフ

取締役・総合施設長 宮崎 直人



宮崎先生が感銘を受けた本
「満月の夜、母を施設に置いて」

藤川 幸之助 著 中央法規

第二章 父と、

『祈る』

父の仏壇の前で手を合わせる時

母のことをどのようにお願いしようかと迷う

「病気が治りますように」と祈るにも

アルツハイマーという病気が

治りそうもなく嘘くさい

「母さんが一番つらくないようにしてください」と祈ると

母の息がすっかり止まり

安らかな顔が脳裏に浮かぶ

「母さんが幸せになりますように」と祈ると

天国へ行って父と再会し

もう呆けもどこかへ行ってしまった

漂々しくて嬉しそうに幸せそうに

母の顔が目に浮かぶ

結局何にも祈らず

「まだ母さんを連れて行かないでよ父さん」と小声のようなことを

父の写真に向かって

毎朝毎朝お経のように言う

〈今月の出来事〉

○誕生日

〈編集後記〉

今月の題字は、加納 美代子様に
書下頂戴です。
光る暖かき朝、外食の機会も
増えつつあると思っております。
2023年入社も依然として油断も
おぼつかず。
感謝の気持ちを込めて、ご挨拶です。



発行責任者 宮崎 直人